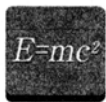


「光子の非局所性」実験で証明



アインシュタインが100年以上前に提唱した「光子の非局

所性」と呼ばれる物理現象について、東京大の古澤明教授らの研究グループは、特殊な実験装置を使って、初めてこの現象が起きることを厳密に確認したと発表した。古澤教授は「提唱の正しさを巡り続いていた論争が、これで決着したと言える」と話した。

この現象は、アインシュタインが量子力学に基づいて提唱した。小さな穴を通り抜けた光子（光の粒）をA地点で観測するかしないかによって、離れたB地点での観測結果が異なるという。古澤教授らは、光子がA、Bの2地点に半々の確率でたどりつく実験装置を作って、10万回以上、実験を繰り返し、提唱が正しいことを証明した。

読売新聞2015年5月14日付夕刊10面